

## 第55回地域農林経済学会大会のご案内

2005年7月1日

地域農林経済学会

第55回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。奮ってご参加願います。

1. 期 日：2005年10月28日(金)～31日(月)

2. 日程および会場

A. 開催地：三重大学生物資源学部 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

開催期間中の連絡先： 大原興太郎 (TEL/FAX：059-231-9503)

波多野豪 (TEL：059-231-9504)

B. 日 程

|       |                                                                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【第1日】 | 10月28日(金)共催シンポジウム 総合研究棟情報メディア館(受付開始 12:30)                                                                          |
|       | ○世界社会学会食料農業委員会・地域農林経済学会共催シンポジウム<br>テーマ：「補助金のない農業?：市場主導型農業が直面する課題」[13:00-17:00]                                      |
| 【第2日】 | 10月29日(土)大会シンポジウム 生物資源学部大講義室<br>テーマ「グローバル化と地域農業・農政の展望 - 東アジア型農業・農村の視点から - 」                                         |
|       | ○受付開始 [ 8:30 ]                                                                                                      |
|       | ○会長挨拶 [ 9:00 ]                                                                                                      |
|       | ○座長解題 [ 9:10～ 9:25 ]                                                                                                |
|       | ○シンポジウム報告 [ 9:25～ 11:50 ]                                                                                           |
|       | ○昼食 [ 11:50～ 12:50 ]                                                                                                |
|       | ○コメント [ 12:50～ 13:50 ]                                                                                              |
|       | ○コーヒープレイク [ 13:50～ 14:00 ]                                                                                          |
|       | ○一般討論 [ 14:00～ 16:00 ]                                                                                              |
|       | ○総会 [ 16:00～ 17:00 ]                                                                                                |
|       | ○懇親会 [ 17:30～ 19:30 ] 三重大学生協食堂                                                                                      |
| 【第3日】 | 10月30日(日)                                                                                                           |
|       | 個別報告 [ 9:00～ 13:30 ] 生物資源学部1・2F                                                                                     |
|       | 特別シンポジウム [ 13:30～ 16:30 ] 生物資源学部大講義室<br>テーマ：「地産地消の展開と食農教育への新たな取り組み」(受付開始 13:00)<br>(共催：三重大学紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター) |
|       | 特別シンポジウム連動エクスカーショントークショー [ 17:00 - 翌 13:00 ]<br>モクモク手作りファーム, 三重大学フィールドサイエンスセンター農場                                   |
| 【その他】 | 共催シンポ打ち合わせ 10月28日(金)[ 12:00～ 13:00 ] 総合研究棟会議室                                                                       |
|       | 大会シンポ打ち合わせ 10月28日(金)[ 17:00～ 18:30 ] 655室                                                                           |
|       | 編集委員会 10月28日(金)[ 17:00～ 18:30 ] 478室                                                                                |
|       | 支部代表連絡会議 10月28日(金)[ 17:00～ 18:30 ] 475室                                                                             |
|       | 理事会 10月28日(金)[ 18:30～ 20:30 ] 475室                                                                                  |
|       | 特別シンポ打ち合わせ 10月30日(日)[ 12:00～ 13:00 ] 中会議室                                                                           |

(注)大会会場への交通、大会・個別報告会場、特別シンポジウム会場、懇親会会場の案内は、後掲付-1「三重大学へのご案内」をご参照下さい。

C. 参加費用等

- ・ 大会参加費：一般会員：3,500円、学生会員：1,500円
- ・ 報告要旨代：2,500円

- ・ 懇親会費 4,000円（学生3,000円） - 会場予定の生協の改修で変更の可能性あり  
県内の生産者から直接提供を受けた食材と、県内の地ビール・地酒などを取り揃えた「地産地消」懇親会を企画しています。奮ってご参加下さい。
- ・ エクスカーション費用：一泊二食12,000円（マイクロバス使用・4～5人一部屋の場合）
- ・ 特別シンポのみの参加：資料代 1,000円

### 3. 大会シンポジウム 10月29日（土）[9:00～16:00]

共通論題：『グローバリゼーションと地域農業・農村の展望 ―東アジア型農業・農村の視点から―』

#### 座長解題

座長 河村能夫（龍谷大学）

第二次世界大戦後の米ソの対立を基本とする政治・経済システムは、1989年秋以降の東ヨーロッパの劇的な改革やベルリンの壁の崩壊とそれに続くドイツ統一やソ連の崩壊により終焉を迎えた。東西冷戦構造の終焉にともない、対立構造にあった二つのシステムが融合を始め、グローバリゼーションの波が世界を覆い始めた。さらに GATT・WTO 体制の進展や NAFTA、EU 等の地域経済統合の進展に伴い、世界の政治・経済システムの融和と相互依存体制が強化されてきた。ソ連の崩壊で米国が世界の唯一の超大国となりグローバリゼーション下における米国の影響力が増したが、これに対抗すべく EU が拡大され、EU 要塞が形成されつつある。

グローバリゼーションは、国家主権の部分的放棄と政策協調を伴う相互依存体制の強化を特徴としている。グローバリゼーションの進行や WTO 農業合意による農業保護の削減、さらに FTA、EPA の締結数の増加に伴い、世界の農産物貿易は拡大し、土地賦存条件に恵まれた新開国の農産物輸出は増大した。一方、人口密度が高く土地賦存条件に恵まれない日本、韓国、台湾等では、農産物輸入が増加して、食料自給率は低下傾向をたどっている。人口爆発や世界の食料需給バランスの見通しに対する不透明感のため、東アジア諸国では将来の食料供給に関する漠然とした不安感が広がりを見せ、食料自給率の向上や食料安全保障政策の構築を望む声が強まっている。

こうした中で東アジアでも対抗勢力として、東アジア経済共同体の構築を望む声が強まっている。東アジアにおけるこうした状況を踏まえ、日本農業の視点から考えたときに、それがいかに日本にとって有利に展開しうる可能性があるかを検討することが求められている。

そこで本シンポジウムでは、食料安全保障の視点、生産コストと、環境の維持、地域社会の存続との間の矛盾の止揚とそこにおける多様性の視点、高付加価値型農業の可能性の視点に立って議論を進める。そのような議論をふまえて、日本農業がグローバリゼーションの中で存続しうるような共通農業政策の構築の可能性を、以下の4報告に基づいて探る。

第1報告「グローバリゼーションと地域農業の変容」では、日本のように、土地・労働比率の低い国が新興工業国型の経済成長を遂げると、グローバリゼーションの下で、地価上昇→土地利

用型農業の構造改革が困難→新開国農業との競争力が低下→農産物輸入増加→農業の人的資源が脆弱化→農業の規模縮小、という経路をへて、食料自給率の低下、食料安全保障への不安の高まりを引き起こすと考えられる。こうした経験的法則性を、日本を中心に、韓国、台湾、中国についても水田農業に焦点を当てて検証し、食料自給率低下のメカニズムを検討する。

第2報告「グローバル化進行下の東アジアにおける農産物貿易 - 高付加価値農産物輸出による地域農業振興の可能性 -」では、第1報告で検証するように、グローバル化と経済成長のなかで土地利用型農業の劣位化が進行してきた一方で、新たな展開方向として、高付加価値型農産物の生産が伸張してきた。その背景には、高い所得を持つ国内消費者の安全、新鮮な農産物の需要が形成されたことがある。それを支える技術も開発されてきた。さらに、東アジア諸国の急速な経済成長と WTO 加盟国の増加に伴い、日本の高付加価値農産物に対する需要が、量はいまだそれ程多くないとはいえ、増加傾向にある。一部の富裕層のなかに日本の高付加価値農産物に対する需要が生まれた。ナシ、りんご、有機栽培米等が輸出されている。日本の高付加価値農産物の輸出戦略と今後の輸出拡大の可能性を、事例分析を通して探る。

第3報告「条件不利地域農業の課題と振興方策」では、日本を中心とする東アジア型農業の特質、とくに条件不利地域農業の特質を明らかにする。日本について明らかにするとともに、東アジアの共通性を確認する。東アジアでは水田農業が重要な役割を果たし、水路、農道が網の目のように張り巡らされ、集落を基盤とする農村社会が形成されている。こうした農村社会構造の中で営まれる農業は、ネットワーク型農業という特徴をっており、農業資源の利用調整は集落内での合意形成を必要とする。生産コスト問題と、環境の維持、地域社会の存続の間の矛盾がどのように地域農業のなかで展開し、どのような方向でその止揚が求められるのかを検討する。

第4報告「東アジア共通農業政策構築の可能性」では、農産物貿易の自由化がさらに進むと、食料自給率が一層低下するとともに耕作放棄地の増加や農業の多面的機能の低下が懸念されるが、類似した問題を抱える東アジア諸国が、共通農業政策を構築して、農業・農村を活性化し、食料安全保障を確保する可能性を、EUの共通農業政策が形成された過程を参考に検討する。日本、韓国、台湾、中国に共通する農業問題と農業政策を探り、共通農業政策を確立する論理が組み立てられないか検討する。グローバル化下で、東アジア型農業（分散錯圃型零細家族経営）の維持・発展を可能にする国境調整措置や国内農業支持政策を、共通農業政策の構築も含めて展望する。

第一報告 「グローバル化と地域農業の変容」

加古敏之（神戸大学農学部）

第二報告 「グローバル化進行下の東アジアにおける農産物貿易

- 高付加価値農産物輸出による地域農業振興の可能性 -」

谷口憲治（島根大学生物資源科学部）

第三報告 「条件不利地域農業の課題と振興方策」

飯国芳明（高知大学黒潮圏海洋科学研究科）

第四報告 「東アジア共通農業政策構築の可能性」

コメンテーター

酒井 富夫（富山大学極東地域研究センター）

伊東 正一（鳥取大学農学部）

衣笠 智子（神戸大学経済学研究科）

駄田井 久（岡山大学農学部）

4. 個別報告（個人・連名報告とグループ報告） 10月30日（日）[9:00～13:30]

個別報告の希望者は、8月17日（水）までに同封のハガキにより申し込みを行い、8月26日（金）までに報告要旨4部を地域農林経済学会事務局（以下の7. に宛先記載。中西印刷株式会社、担当：河合）宛に郵送下さい。作成にあたっては、本学会ホームページ（<http://www.nacos.com/arfe/journal.html>）にあるフォーマット（一太郎版、ワード版）をダウンロードし、作成して下さい。

個人・連名報告は1件につき、30分（報告20分、質疑応答10分）を予定しています。今大会では、科学研究費などの共同研究者がそれぞれ報告し、議論を深めるための取り組みとして、“グループ報告”を受け付けます。例えば、5名で報告する場合、2時間枠を取り、その範囲で座長の進行により議論を深めていくことを考えています。“グループ報告”をご希望の場合、事前に担当理事（加古敏之；[kako@kobe-u.ac.jp](mailto:kako@kobe-u.ac.jp)）にご相談のうえ、に従い手続きをしてください。

個別報告希望者でパワーポイントをご希望の方は、プロジェクターは開催校が準備いたしますので、当日ノートPCをご持参ください。希望者は葉書の該当欄に○印をして下さい。また、個別報告希望者でOHPの利用を希望される方は、葉書の該当欄に○印をして下さい。筆頭報告者には、会員の資格が必要です。非会員の方は、本学会ホームページ（<http://www.nacos.com/arfe/member.html>）にある入会申込書（PDF）をダウンロードし、提出下さい。もしくは、至急学会事務局までお申し出下さい。

報告内容を大会個別報告論文として投稿されたい方は、葉書の該当欄に○印をして下さい。なお、編集日程に余裕がないことを、十分ご留意下さい。その他詳しくは、後掲付 - 2「地域農林経済学会大会個別報告論文投稿要領」をご参照下さい。

5. 世界社会学会食料農業委員会・地域農林経済学会共催シンポジウム

10月28日（金）[13:00～17:00]

テーマ：「補助金のない農業？：市場主導型農業が直面する課題」

国際社会学会（ISA）の第40研究委員会（RC40）は、WTO下における農業補助金削減の影響について世界的な議論を呼びかけており、2005年度中に世界5個所で連続的に研究会が開催される。

RC40 と地域農林経済学会が共催する本シンポジウムでは日本と東アジアを事例に同テーマに関する議論を深めたい。

# 6. 特別シンポジウム 10月30日 [13:30-16:30] (受付開始 13:00) 大講義室

共通論題 「地産地消の展開と食農教育への新たな取り組み」

(共催：三重大学紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター)

座長：波多野豪(三重大学)

特別シンポジウムでは、三重県における地産地消と食農教育について、農業経営レベルでの取り組みや県の支援体制について経営者および県政担当者から報告して頂き、その推進課題を議論する。また、議論を深めるために、当シンポジウムと連動してモクモクの滞在型食農教育施設でのエクスカージョンを行う。

報告(予定):

「三重県における地産地消の取り組み」 神井弘之(三重県農水商工部マーケティング室)

「個人ブランドによる地産地消の取り組み」 森田英治(森田農園)

「鈴鹿山麓夢工房による地域振興と循環型農業の取り組み」

川森浩(農事組合法人鈴鹿山麓夢工房)

「米麦経営法人による『おにぎり村』の展開」 山下敏宏(有限会社エーエムシー)

「モクモクによる食農・環境教育の取り組み」 吉田修

(農事組合法人伊賀の里モクモク手作りファーム)

「地域農業・農村の変化とFSセンター農場の役割」

大原興太郎(三重大学紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター)

○10月30日～31日：特別シンポジウム連動エクスカージョン [17:00 - 翌 13:00]

|        |                                                                               |                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 訪問先    | モクモク手作りファーム，三重大学フィールドサイエンスセンター農場                                              |                             |
| 宿泊     | モクモク手作りファーム滞在型食農教育施設「OKAERI ビレッジ」<br>〒518-1392 三重県伊賀市西湯舟 3609 TEL0595(43)0909 |                             |
| 日程     | 30日 17:00                                                                     | 三重大学出発，モクモク手作りファームへ         |
|        | 30日夜                                                                          | モクモクの発展概要と食農教育プログラムの説明，全体討議 |
|        | 31日 午前                                                                        | 朝の農作業体験，モクモク手作りファーム見学       |
|        |                                                                               | 三重大学フィールドサイエンスセンター農場見学      |
|        | 31日 13:00                                                                     | JR・近鉄津駅前にて解散                |
| 費用     | 一人 12,000 円 (バス代および 1泊2食料金)<br>料金は申込み時に徴収いたします。支払い方法は申込時にお知らせします。             |                             |
| 申し込み方法 | 三重大会事務局(大原)まで，ファックス・Eメールなどの書面にてお申込み下さい。8月31日(水)締切とします。                        |                             |

|       |                                                                                                  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | 大原興太郎 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学生物資源学部<br>TEL/FAX 059-231-9503, email: ohara@bio.mie-u.ac.jp |
| 定員    | 20 名（先着順）                                                                                        |
| キャンセル | 9 月 26 日以降のキャンセルは、キャンセル料が発生します。                                                                  |

## 7. その他連絡事項

シンポジウムと懇親会とへの参加・不参加を同封の葉書により **8 月 17 日（水）まで**にお知らせ下さい。

宿泊について

事務局では斡旋いたしません。後掲付 - 3「ホテル・旅館リスト」をご参考に各自でご予約下さい。

連絡・問い合わせ先等

大会に関するご連絡、お問い合わせ先、個別報告要旨原稿の郵送先は次の通りです。

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

中西印刷株式会社学会部内

地域農林経済学会事務局（担当：河合）

TEL:075-415-3661、FAX:075-415-3662、E-Mail:arfe@nacos.com

お願い

大会準備のため、出席の有無にかかわらず、同封の葉書に所定の事項をご記入の上、50 円切手を貼って、**8 月 17 日（水）まで**に必ず投函願います。また、昼食については、10 月 29 日は生協食堂が営業、30 日は地産地消弁当を販売いたします（29 日の大会受付時に 30 日の弁当予約を受け付けます）のでご利用ください。

# 三重大学 案内マップ

○近鉄江戸橋（三重大学前）駅下車 徒歩約15分

○JR/近鉄津駅からバス・タクシー

〔バス〕「津駅前」4番乗り場より三重交通バス

- ・「白塚駅前」行
- ・「棕本（むくもと）」行
- ・「豊里ネオポリス」行
- ・「三重病院」行
- ・「太陽の街」行
- ・「三行（みゆき）」行

で「大学前」で下車（約6分、200円）。

〔タクシー〕津駅前から5分（三重大正門）。

○車での来場 土日は大学駐車場が使用できます。



国立大学法人

## 三重大学

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

☎059-232-1211(代)

URL <http://www.mie-u.ac.jp/>

## 付 - 2 個別報告論文投稿要領

### 1. 投稿資格および掲載料

投稿者は、当年度の地域農林経済学会大会における個別報告者で大会当日に配布する「『農林業問題研究』大会特集号大会個別報告掲載申込書」により掲載を希望するものに限る。4の審査により掲載を許されたものは、掲載料として1本につき2万8千円（別刷30部の代金も含む。ただし、30部以上希望する場合は部数に応じて別途印刷実費負担が必要）を所定の郵便振替口座あるいは銀行口座（入金用紙は校正原稿送付時に同封する）に入金するものとする。なお、入金が掲載の必要条件となる。掲載料は2年ごとに見直す。（超過頁については3(2)を参照のこと）

### 2. 投稿原稿

原稿はワープロを用いて執筆し、原稿一枚あたりの字数を明記したうえで、原稿を、図、表とともに3部（ただし2部はコピーでよい）ならびにフロッピー・ディスクを添えて提出する。なお、原稿は未発表のものに限る。

### 3. 原稿の書き方・枚数

(1)原稿の書き方、図表の作成および注・引用文献等の記載方法は当学会誌『農林業問題研究』投稿規程および記載方法の当該箇所の説明に準じる。

(2)枚数は図表も含め刷り上がり4頁以内（400字詰め20枚が目安）を基本とし、やむを得ない場合に限り最大6頁まで認める。この刷り上がり枚数を超える原稿は掲載できない。なお、4頁を超える超過ページは1頁につき1万円を負担する。

(3)刷り上がり紙面は当学会誌『農林業問題研究』通常号の論文と同一の活字・書式とする。

### 4. 審 査

常任編集委員会が定める所定期日（個別報告希望者に別途文書で通知する）内に受付たもののみを対象とし、審査員の審査を得て最終的には常任編集委員会が採否を決定する。

### 5. 著者校正

著者校正を1回行う。その際印刷上の誤り以外の字句修正、あるいは原稿になかった字句の挿入および図版の修正は認めない。

### 6. 掲載号について

大会個別報告論文は、大会翌年度の『農林業問題研究』6月号に掲載される。

### 7. 論文等の公開

掲載論文等は、インターネット上で公開することがある。

### 8. 原稿提出

「『農林業問題研究』大会個別報告掲載申込書」を投稿原稿に添えて、下記編集委員会宛に提出すること。また、提出封筒の表に「大会個別報告論文原稿」と朱書きすること。

（平成15年6月14日改正）

付 - 3 会場周辺の旅館・ホテルのリスト

| 場所     | 屋号(名称)      | 電話番号         | 住 所               | ホームページ                                                                                  |
|--------|-------------|--------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| JR一身田駅 | 美好屋旅館       | 059-232-2074 | 津市大里窪田町<br>2709-1 | <a href="http://www.ztv.ne.jp/c2aa9eqq/">http://www.ztv.ne.jp/c2aa9eqq/</a>             |
| JR一身田駅 | 味の宿 魚義      | 059-231-5566 | 津市大里窪田町<br>2717-4 | <a href="http://www.ztv.ne.jp/uoyoshi1/">http://www.ztv.ne.jp/uoyoshi1/</a>             |
| JR一身田駅 | 高田青少年会館     | 059-232-6079 | 津市一身田町2819        |                                                                                         |
| 近鉄江戸橋駅 | 旅館 八百善      | 059-228-2824 | 津市上浜町2丁目90        |                                                                                         |
| 津駅周辺   | ホテルグリーンパーク津 | 059-213-2111 | 津市羽所町700          | <a href="http://www.greens.co.jp/index.html">http://www.greens.co.jp/index.html</a>     |
| 津駅周辺   | 津グリーンホテル    | 059-225-7601 | 津市栄町3丁目47         | <a href="http://www.greens.co.jp/index.html">http://www.greens.co.jp/index.html</a>     |
| 津駅周辺   | 寿々喜旅館       | 059-225-2941 | 津市羽所町143          |                                                                                         |
| 津駅周辺   | 丸二ホテル津      | 059-227-8333 | 津市広明町345 - 4      | <a href="http://www.maruni-c.co.jp/">http://www.maruni-c.co.jp/</a>                     |
| 津駅周辺   | ターミナルホテル    | 059-225-6100 | 津市大谷町148-1        | <a href="http://www10.ocn.ne.jp/~tuhotel/">http://www10.ocn.ne.jp/~tuhotel/</a>         |
| 津駅周辺   | 旅館 喜多荘      | 059-225-6031 | 津市栄町3丁目228        |                                                                                         |
| 津駅周辺   | ビジネスホテル三徳   | 059-223-3109 | 津市栄町1丁目853        | <a href="http://www.ztv.ne.jp/santoku/">http://www.ztv.ne.jp/santoku/</a>               |
| 津駅周辺   | ホテルエコノ津     | 059-226-4141 | 津市北丸の内259         | <a href="http://www.greens.co.jp/index.html">http://www.greens.co.jp/index.html</a>     |
| 大門周辺   | ビジネス旅館若草    | 059-226-2354 | 津市中央8 - 24        | <a href="http://www.ztv.ne.jp/assh/">http://www.ztv.ne.jp/assh/</a>                     |
| 大門周辺   | ホテル 若鈴      | 059-226-4321 | 津市乙部31 - 31       |                                                                                         |
| 大門周辺   | ビジネス旅館白浜    | 059-225-0500 | 津市海岸町15 - 31      |                                                                                         |
| 大門周辺   | 民宿 阿漕荘      | 059-225-0655 | 津市海岸町16 - 12      |                                                                                         |
| 大門周辺   | 津 都ホテル      | 059-228-1111 | 津市大門7 - 15        | <a href="http://www.miyakohotels.ne.jp/tsu/">http://www.miyakohotels.ne.jp/tsu/</a>     |
| 大門周辺   | 旅館 いろは      | 059-226-6922 | 津市大門12 - 7        |                                                                                         |
| 津市駅前周辺 | 国民旅館角喜ホテル   | 059-225-5151 | 津市丸の内12 - 1       | <a href="http://www.ztv.ne.jp/zt5ym75p/">http://www.ztv.ne.jp/zt5ym75p/</a>             |
| 津市駅前周辺 | ビジネス旅館近畿荘   | 059-228-4212 | 津市丸の内11 - 2       | <a href="http://www.ztv.ne.jp/kinkisou">http://www.ztv.ne.jp/kinkisou</a>               |
| 津市駅前周辺 | 旅館 夕風荘      | 059-224-1166 | 津市丸の内20 - 21      | <a href="http://www12.ocn.ne.jp/%7Eyuunagi/">http://www12.ocn.ne.jp/%7Eyuunagi/</a>     |
| 津市駅前周辺 | プラザ洞津       | 059-227-3291 | 津市新町1丁目6-28       | <a href="http://www.ztv.ne.jp/dohshin/">http://www.ztv.ne.jp/dohshin/</a>               |
| 津市駅前周辺 | 旅館 みかさ      | 059-227-7538 | 津市南丸の内9 - 43      | <a href="http://www.ztv.ne.jp/maruchi/mikasa/">http://www.ztv.ne.jp/maruchi/mikasa/</a> |
| 津市駅前周辺 | 美杉旅館        | 059-228-2658 | 津市丸の内4 - 5        | <a href="http://www11.plala.or.jp/misugi/">http://www11.plala.or.jp/misugi/</a>         |
| 市内その他  | 磨洞温泉 涼風荘    | 059-228-8413 | 津市半田2860 - 1      | <a href="http://www.ryoufu.com/">http://www.ryoufu.com/</a>                             |
| 市内その他  | 魚茂旅館        | 059-228-8354 | 津市柳山津興369-29      |                                                                                         |
| 市内その他  | ホテル広洋       | 059-227-0706 | 津市津興阿漕町155        |                                                                                         |
| 市内その他  | カネキ旅館       | 059-234-8233 | 津市雲出長常町1078       |                                                                                         |

情報提供: 津市旅館料理業組合